2013年8月号「vol.38」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

関心大きい「高齢化」や「ごみ出しマナー」問題
磯子区内の地域の声を聴いてみました

今各地域では夏祭りがたけなわです。人々の暮らしに潤いを与え、充実した生活の一翼を担うのが地域で行われる行事や人々の結びつきです。日本の社会は今日、自助、公助中心の時代から共助中心の時代へと変容していますが、ここでは人々の支え合いをどのようにつくり、これを背骨とした地域をどうつくっていくかがポイントとなります。そこで郷土磯子について住民のみなさんがどう思い、何に関心を持ち、どんな問題を抱えているか、声を聴いてみました。役所などのように手間をかけ大がかりな調査、分析を行うことはできませんが、具体的な事例を書き込んでもらう項目に力を入れ、出来るだけ突っ込んだものにすることを特色としました。

【調査方法】6～7月の2カ月、磯子区内の約160人を対象に調査用紙を配り、約80人から回答をいただきました。町内会・自治会長さんを中心とした40代以上の方々で男性6割、女性4割です。調査項目は性別、年代、住んでいる地域、居住年数、磯子は住みやすい所か、と「地域での悩み・困っていること・それへの取り組み」「より住みよい所にするため行政に求めること」を複数回答で記述していただきました。

【調査結果】①「磯子区は住みやすい所だと思いますか?」には「どちらかというと」を加えると90%の人が「住みやすい」と答えています。

②「悩み・困っていること」では78件の記述回答をいただきました。最も多かったのは「不法投棄、分別などごみ出しのマナーが悪い。特に若者・賃貸住宅・外国人世帯」で22件。次に多かったのは「高齢者の独り暮らし・同夫妻の世帯が増え、防犯・災害時の避難救出に不安がある」が17件。3番目が「地域の活動・行事等に無関心」7件。

③「行政への注文」は29件あり、「自治会・町内会の役員の引き受け手がなくなる一方、役所からの依頼業務が増えている」「役所の縦割りの影響を受けているが町内会・自治会サイドでこれらを調整するのは困難」「住民は何かをしてもらうのかでなく、何ができるのかの視点から、役所は住民を地域社会に組み込む体制をつくり上げてほしい」などの声が寄せられました。

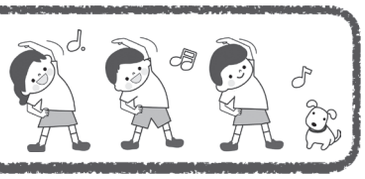
④数年前から住民が要望している磯子警察署前の狭い歩道（幅2㍍未満）について警察では「広げるには警察の駐車場を削ることになる。この分横浜市有地を取得して代替させたい。現在横浜市と調整中」としています。

コレが言いたい!

今回の調査結果で感じたのは、地域での問題はみなさんがよく話し合い、理解しあえるよう「地域の絆」が重要と考えます。聞くところによると、東日本大震災で被害を受けた地域の中で復興が進んでいるのは自治会などの地域活動が活発な地域だと言うことです。災害などに備えて日頃からの地域活動に参加することが重要と考えます。8月は地域での夏祭りも行われますので、夏祭りに参加することから始めるのも良いかもしれません。

今月のひと言

子ども達も夏休みとなりました。神奈川県では子どもたちが参加できる様々な体験活動を実施しています。夏休みの宿題にもお役立て下さい。
http://www.planet.pref.kanagawa.jp/wakuwaku/



磁子 あれ？これ？

花栽培のさきがけ磁子区

磁子区の花栽培は、横浜港の開港により居留外国人らの生花需要によるものとされています。明治4（1871）年4月に山手公園で、日本初のフラワーショーが開かれました。明治24（1891）年頃より中原・杉田方面でのテッポウユリの栽培に成功しさらにヒヤシンス、グラジオラス等を栽培しています。また、明治42（1909）年には杉田の伊澤九三吉氏が外国人の花卉愛好熱に目をつけ、15坪ほどの温室を作りユリやバラ等数種類の花を栽培しました。

一説には、明治初期に来日した外国人達は磁子区内の山に咲き乱れるテッポウユリに魅了され、有望な輸出品として地元の人達に山掘りをさせました。しかし僅か数年で掘りつくされてしまい、輸出を補うため杉田のユリ仲買人の間辺銀蔵氏が明治24年にテッポウユリの栽培を始めたとされています。カーネーションの名花「コーラル」は磁子生まれです。

因みに県の花は「やまゆり」・市の花は「バラ」・区の花は「コスモス」です。皆さんご存知でしたか？

活動報告

7月16日「認知症サポーター　キャラバン・メイト養成講座」を受講しました。「認知症サポーター　キャラバン・メイト」は今後増えるであろう認知症を理解し認知症の人や家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」を少しでも増やすよう、認知症サポーターを養成する事ができます。認知症サポーター講座を受講されたい方は出張講座をしますのでご連絡下さい。

また地域の方から要望の多かった磁子警察署の歩道については再度警察に要望し「自転車に乗っている方に歩行者への注意を呼び掛ける看板を警察署前に設置する」との回答を得ました。今後、歩道を拡張し警察署前の駐車場の駐車台数が減った際には警察署裏に駐車出来るよう整備を進めるよう更に要望してまいります。

インターネット解禁になった参議院選挙。
自民党女性議員局でかながわ自民 TV に出演

7月25日～26日、県内の市町村の要望を聴く
市町村ヒアリングが開催されました。

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磁子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成23年4月　県議会議員初当選
- 厚生常任委員/社会問題対策特別委員
- 自民党神奈川県議団副団長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい…… FAX 045-761-7451